

## 議会報告会質疑応答記録

記録作成：議会基本条例推進委員会

○開催日時：平成 27 年 10 月 31 日（土）14 時 00 分～16 時 00 分

○開催場所：消防団第 3 分団 2 階会議室

○参加者：10 名（途中 1 名退席）

○主催者側：議員（14 名）、議会事務局（3 名）

- 次第
- ①挨拶（添田議長）・自己紹介（議員全員）
  - ②決算の概要と審査内容について説明 …決算審査特別委員長（根岸副議長）
  - ③常任委員会の調査事項について説明
    - …総務建設経済常任委員長（桑原議員）
    - …教育福祉常任委員長（小笠原議員）
  - ⑤上記②・③の説明に対する質疑応答
  - ⑥意見交換会（テーマごと座談会）
- \*②・③は当日配布資料に基づき説明を行った。

### <議会報告②③に関わる質疑応答>

**参加者：**一般会計歳入のところで、ひとつお聞きする。民生費が増えている。25 億前後の民生費、どういう特別会計への繰出金で増えたり減ったりしているか。

**添田議長：**26 年の決算を見ると、国民健康保険特別会計への繰出金が約 1 億 5 千万、後期高齢者医療特別会計へ約 3 億 6 千万、介護保険特別会計へ約 3 億 2,400 万。トータルすると約 8 億くらいになる。その繰出金が毎年増えている。これが財政を圧迫している。

**参加者：**財政見直しを見ると、町税があまり減っていない。この数値は何に基づいているのか、しかも説明では人口が減っていると言われた。団塊の世代が退職してくると、むしろ働いている人が減る。これでは減り方が少ないのではないかと思う。どのような計算で出されたのか教えてほしい。

**添田議長：**町民税は、住民税・固定資産税・町民法人税。最初のふたつが大きい。固定資産税は減価償却費で少しだけ減る傾向にある。生産年齢人口が減っているのにこの減り方でいいのかというのはこれから議論すべき点である。町財政が破綻をしないように、しっかりと議論していかなければならないと思っている。

**参加者：**今の町民税の減り方では、このままではより減っていくだろう。平成 25 年に出された二宮町公共施設再配置に関する基本方針に書かれてあるものよりも、公共施設更新予算は厳しくなっていくであろうと思うがどうなのか。

**添田議長：**基本方針の中には原則がある。新規整備は原則としては行わない。施設の更新をする場合は複合施設とする。施設の面積は縮減する。という 3 つの大きな原則で町では計画をたてようとしている。

（以上の質疑応答の後、テーマごと座談会）